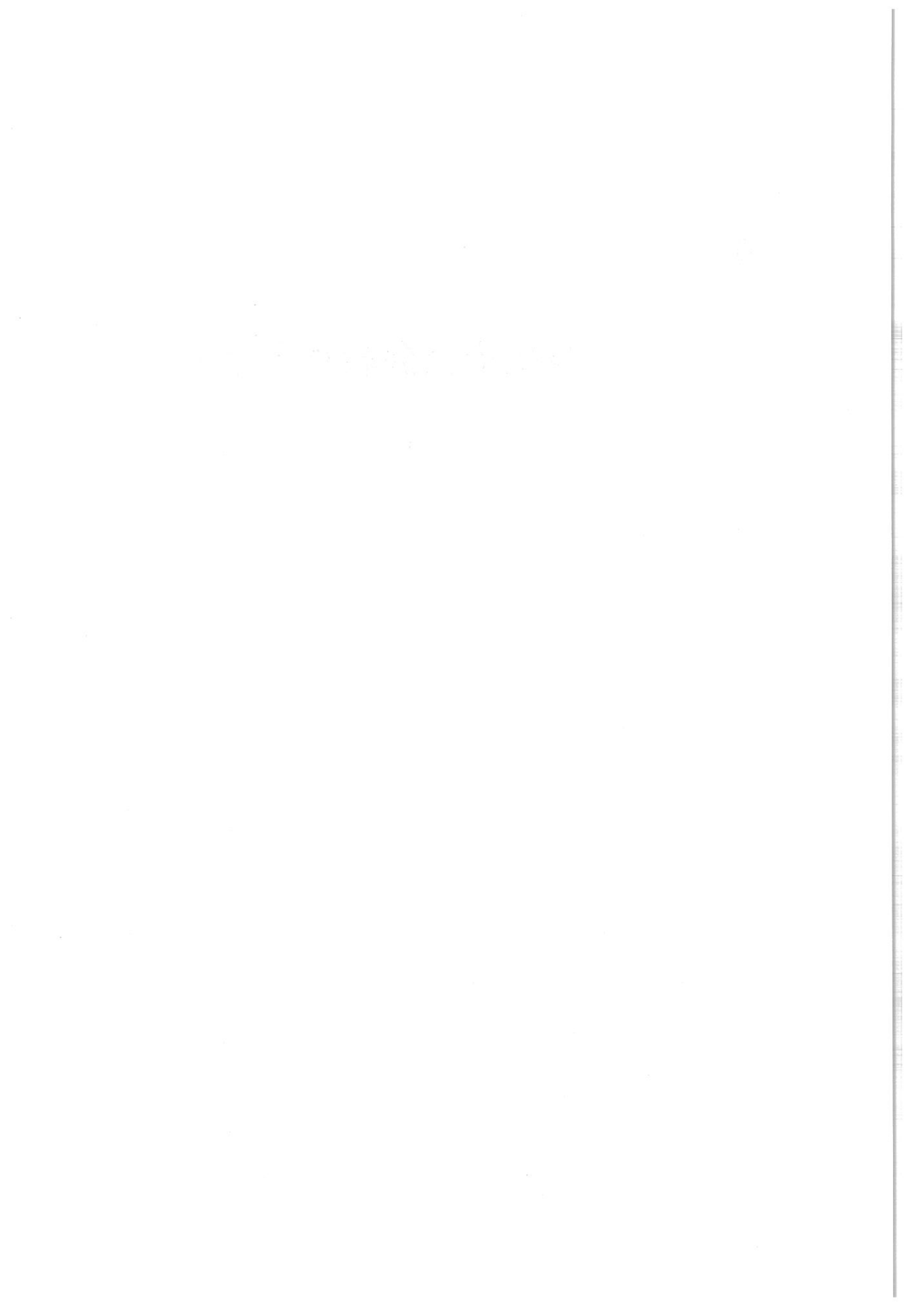


VI

福生市社会教育史年表



## Ⅶ 福生市社会教育史年表

年月日	内 容
昭和20年4月 (1945)	福生青年団クラブ、東京都消防署出張所として接收される
8月30日	マッカーサー厚木に進駐
9月4日	連合軍先遣隊、横田基地を進駐撰取
5日	終戦連絡委員会西多摩事務局が森田別宅(現幸楽園)に設置される
11月1日	福生・青年団再建会議を永田クラブで開催
3日	福生青年団発会式 初代団長 橋本孝蔵氏
11月20日	並木嶋雄氏、月間紙「ふるさと」発刊
12月1日	熊川青年団発会式を行う 初代団長 森田正氏
21年1月 (1946)	福生青年団、大久野(日の出村)青年団と会合を持つ
3月8日	そろばん会の発会 山崎茂男氏
3月10日	西多摩郡青年座談会を福生青年団有志で開催、長沢クラブにおいて
3月12日	熊川青年団幹部、国民学校卒業生と懇談会(女子は13日)
15日	熊川青年団、国民学校卒業生と宿泊錬成会
3月	青年年団機関紙「多摩の礎」発刊、月間で
4月2日	福生青年団読書会を設置
4月10日	福生青年団女子青年団員、第1回総選挙で投票会場の福生一小で「一日託児所」を開設、合わせて自転車も預かる
	福生青年団4月からお花の講習会をはじめる。第2、4日曜日
25日	GHQ民間情報教育部、ピッカリン大尉、熊川青年団を視察
5月6日	NHK放送で熊川青年団活動紹介
5月	食料事情危機逼迫本団食料危機突破の方向を決定(福生青年団)
9月8日	西多摩連合青年団結成
10月16日	福生青年団、熊川青年団合同し福生青年団として発足(初代団長、橋本孝蔵氏)
10月26日	青年団体育祭開催
	○この年の夏、橋本孝蔵氏、篠崎久治氏、興石 泉氏、今井誉次郎氏、並

木嶋雄氏 山崎愛治氏等「あかざ」を結成、例会、第1・3土曜日夜活動・機関紙「あかざ」を発行

○青年団文化部読書会を中心に「道芝会」結成、山崎茂夫氏等

○青年団による演劇上演（福生一小）橋本孝蔵作「青空市場」

○この年加美こども会を大野貞次郎氏の手で作る

○福生第一小学校教諭金井氏、福生児童合唱団結成

22年3月  
(1947)

教育基本法公布

4月 福生コーラスの会発足 笹本玲子、笹本裕子氏等毎土曜日午後6時から、講師、国立音楽大学旗野先生

4月 1日 6・3・3制実施、福生中学校設立許可、国民学校を小学校と改称

6月 22日 西多摩文化団体懇話会発足準備会を福生農業会二階で開催（参加サークル 福生あかざ社、西多摩村民民主義研究会、青梅懇話会、新日本婦人同盟青梅支部、西多摩婦人部、氷川青年会、五日市新農村文化会、平井文化会）  
西多摩夏期大学の計画が論議される

7月 6日 西多摩文化団体懇話会正式発足、事務局、福生あかざ会

13日 西多摩夏期大学福生一小で開催 午前10～午後4時毎日曜日8月31日  
全8回 参加費全回50円

8月 15日 熊川青年団、都民生局に都立熊川保育園設置の陳情をする

9月 29日 第一小学校「母の会」結成、初代会長 横田寛子氏

10月 1日 臨時国勢調査、2,300戸、男14,066人・女8,027人

2日 第1回農地買収（不在地主の農地）始まる

11月 2日 月間文化ニュース「原始林」の発行打ち合わせ 第1小学校

○農林文化講座、福生青年学校で開催「新憲法」について都民対象

11月 3日 日本国憲法公布

この月第一小学校「母の会」の援助で給食を始める

12月 10日 西多摩文化団体懇話会、西多摩文化懇話会ニュース「原始林」発行24年迄  
○この年、福生青年団クラブ東京消防署福生出張所として使用したものを  
青年団副団長山崎良之助氏のクラブ解放運動により、青年団の手にもどる。

23年2月  
(1948)

都立熊川保育園 熊川青年団クラブに開設

- 23年2月 第一小学校「母の会」と学校後援会、PTAの結成について話し合い
- 3月31日 青年学校廃止
- 4月 1日 新制高等学校、大学発足
- 5月 第一小学校内に母の会の後援で図書館出来る、児童図書343冊 教師用176冊 地域に貸出回覧
- 7月 西多摩連合青年団演劇祭で福生町青年団の「河童」が優勝、篠崎久治氏等出演、会場青梅初音座
- 10月 第一小学校の運動会でスクエア・ダンスを父母が行う  
○この年の秋、福生第一小学校PTA設立準備会を持つ
- 24年4月 福生婦人会結成される(初代会長 鮎沢美代子氏)  
(1949)
- 4月 9日 第一小学校PTA発足(初代会長 横田寿照氏)
- 5月28日 福生第二小学校PTA、熊川青年団クラブで創立発会式、会員数325名
- 8月 福生町営グラウンド(牛浜)竣工
- 11月23日 西多摩青年団、郡青年団総合文化祭、五日市町の五日市劇場で開催  
福生青年団「猿(ましら)」篠崎久治氏 『くろ』で演技賞を受賞  
○この年テアトル福生、ニュー福生映画館開館
- 25年2月 レットバージ始まる  
(1950)
- 6月25日 朝鮮戦争始まる
- 7月 山崎茂男氏「教養講座開催」毎土曜日午後7時30分～9時30分全5回  
(①文学について 山崎愛治先生 ②音楽鑑賞 秋山先生 ③青年の心理 白井武一先生 ④社会科 村上直先生 ⑤町の有力者に聞く)
- 10月 第1回青年団支部対抗駅伝マラソン大会開催(38年まで続く)  
国勢調査人口戸数3,220戸、人口14,669人  
○この年から道芝会、青年団から独立、本部を山崎茂男氏宅に置く
- 26年4月 1日 都立福生保育園新築  
(1951)
- 23日 町婦人議員の第1号として鮎沢美代子氏当選
- 5月 児童憲章制定される
- 6月 俳句の会「霧の音」発会「霧の音」誌創刊 主幹木住野先生
- 6月28日 対日講和条約、日米安全保障条約調印
- 10月 1日 福生第三小学校(中福生、志茂、牛浜、原ヶ谷戸を学区として開校)

- 初代校長 広瀬義雄（この時まで3年生まで2部授業行われる）
- 10月20日 福生第三小学校PTA発足
- 11月 1日 福生中学校、現在地に移転
- 2日 福生第三小学校現在地に移転
- この年福生柔道会、設楽清一氏らの手で発足
- 27年4月11日 ポツダム政令廃止  
(1952)
- 28日 対日平和条約、安保条約発行
- 6月 川上作司氏「福生新聞」発刊
- 6月12日 福生中学校、道徳実践学校の指定を受ける
- 7月27日 福生町PTA連合会の結成総会福生第3小学校で開催
- 10月 1日 福生町教育委員会発足、教育委員公選制度による（初代教育委員長横田 寿照氏、教育長秋山誠一氏）
- この年、秋多町、羽村町、福生町の青年有志により劇団「ひこばえ」発足
- 28年6月26日 劇団ひこばえ「原色の街」を公演 ニュー福生で、27日の2日間  
(1953)
- 7月 4日 米軍将校婦人会の発案により混血児収容所「福生ホーム」が川原3,203番地に建設される（木造平屋78坪、総工費420万円）
- 8月 8日 牛浜女子子ども会（代表高橋美代氏）結成熊川駅清掃  
牛浜地区で「夜の女」問題で街の浄化運動起きる、署名請願活動を行う
- 11月 5日 福生風紀取り締まり条例出来る
- 29年4月 4日 西多摩連合青年団、羽村・草花自然公園断走第1回開催  
(1954)
- 19日 福生珠算学校（校長山崎茂男氏）が東京都から認可
- 8月 福生町青少年委員置く
- 10月17日 西多摩婦人会館竣工（牛浜83）理事小野ヨシ氏
- 24日 西多摩青年団運動会福生グラウンドにおいて開催
- 30年4月 1日 都立多摩高等学校福生分校（定時制）を福生第1中学校校舎内に開校  
(1955)
- 10月 1日 国勢調査、人口19,096人 4,137戸 男9,698人 女9,398人
- 16日 町制15周年記念町民運動会開催
- 31年2月20日 福生町誌編集委員会発足  
(1956)
- 2月24日 福生地区PTA研修会、ニュー福生において開催
- 4月 2日 福生町婦人会総会 会長野島アヤ 午前9時からテアトル福生で開催

- 31年4月21日 福生青年団、福生青年団クラブで総会 午後7時から団長長田修一氏
- 4月 西多摩青少年問題協議会発足
- 9月 福生ホーム閉鎖
- 10月 1日 新教育委員会法による教育委員の任命制教育委員会発足（教育委員長横田寿照氏 教育長大久保林作氏）
- この年、第1支部青年団、服部照親氏らの援助で人形劇活動をおこなう  
人形劇の指導は福生第2小学校塩田芳男教諭があたった  
南子ども会（仲良し子ども会）に1支部として協力指導する  
人形劇の上演、読書指導、野球大会コーチなどを引き受ける
- この年、ハウス建設がピークになる。住民に基地従業員が増加、就業人口の3割近くにのぼる。
- この年、牛浜女子子ども会東京鉄道管理局から感謝状をもらう
- 32年2月 9日 福生珠算学校校長山崎茂男氏珠算学校10周年を記念して「社会人学級」（1957）  
を開催（青年団、教育委員会後援、朝日新聞、福生新聞後援、毎週1回、2月9日～6月25日まで、参加者平均22名 最大73名）
- 6月15日 福生町青年学級開設
- 29日 子供会育成講習会 福生第1小学校講堂で開催61名参加
- 7月 3日 子供会育成講習会開催（五日市小学校）西多摩郡下53名参加、福生からも
- 7月28日 本町8町内の児童公園に児童会館（24坪）を婦人会、PTAで建設
- 10月30日 町民美術館の打ち合わせ
- 11月19日 教育委員会主催美術展打ち合わせ 第1小学校で
- 23日 第1回福生町民美術展開催 主催福生町教育委員会
- 28日 都PTA幹部研修会西多摩地区研修会開催（PTAの運営について）  
福生一小で講師 金子孫一氏（都立大教授）
- 33年1月25日 福生美術協会の発会（会長 石川孝明氏）（1958）
- 2月 8日 文化連盟の構想で有志数名が山崎珠算学校に集まり相談
- 2月21日 文化連盟結成準備懇談会結成
- 4月 2日 文化連盟結成準備会 会則つくる
- 4月 1日 都より西多摩郡三カ町村婦人学級の指定を受ける
- 4月18日 婦人会支部長会開催（役所会議室）西多摩出張所から、服部照親社会教育

- 主事、中山社会教育主事出席、婦人学級について話し合い
- 4月29日 婦人学級説明会鍋下婦人会で話し合い
- 5月27日 都主催の婦人学級指導者講習会、立川中央金庫で開催、福生から高橋ユキ氏 森田トメ氏 教育長橋本兵五郎氏参加
- 9月 2日 文化連盟発会準備会
- 9月 7日 婦人学級準備会、模擬婦人学級体験 参加者130名 第3小学校において以後婦人会各支部で婦人学級の話し合い活発化する
- 22日 福生婦人学級準備会 婦人会役員と婦人学級グループの世話係協議会を開催 婦人学級開催 開級式を決定 18グループ
- 10月 3日 婦人学級開級式第3小学校 120名参加 映画「娘は娘母は母」フィルムフォーラム
- 6日 文化連盟発会式 福生珠算学校において(会長鮎沢信太郎氏)
- 17日 文化連盟主催の町民文化祭打ち合わせ(第1回町民美術展を発展させて、教育委員会の主催よりも、文化団体でということ)
- 26日 福生華道連盟結成 文化連盟に加入
- 11月18日 婦人学級全体学習会「講演 経済について」産業経済新聞編集次長 筑井正義氏 映画 南米踏査班記録映画 グループ研究
- 12月 5日 婦人学級指導者講習会 福生町役場会議室 講師 貞閑先生 服部照親氏 宇津木氏等 研究内容「グループ学習における世話人 助言者 書記の立場」
- 34年1月29日(1959) 婦人学級全体学習 志茂睦会館において 講演「現代における主婦の座」 言論科学研究所所長 グループ活動の中間発表
- 3月 8日 西多摩郡連合青年団研修会 奥多摩思源荘
- 4月 1日 第4小学校開校
- 5月25日 婦人学級閉休式 第1小学校講堂で
- 11月29日 福生町青年団第1支部(南、内出)が優良青年団として都教育委員会より表彰される
- この年、鍋2読書会誕生、毎月第2土曜日 熊川中央会館にくる都立青梅図書館巡回図書館むらさき号を利用して、午後1時30分～4時まで 第2小学校の先生を講師に読書を通して学習する婦人学習グループ



- 35年2月  
(1960)
- 福生町体育協会発足(初代会長秋山誠一氏) 福生町陸上競技会発足  
(初代会長平井賢治氏)
- 4月30日 西多摩自治会館が竣工(福生2455) 総工費2300万円  
○福生中学校体育館完成(西多摩では始めて)
- 7月24日 第1回福生陸上競技選手権大会開催 福生第1中学校校庭において  
主催 福生町陸上競技協会 福生町体育協会
- 8月 福生第1小学校 福生第2小学校プール完成
- 10月 1日 「福生町誌」発刊
- 11月 6日 西多摩郡連合青年団幹部講習会 羽村清流荘  
7日 ボーイスカウト西多摩第1団育成会結成総会 青年団クラブで開催  
○この年、婦人会は22支部 1300人の組織であった  
○首都圏整備法による市街地開発地区に、福生、青梅、羽村地区指定  
80万坪工業団地造成
- 36年1月15日  
(1961)
- 成人式を自治会館において(成人者380人)この年から毎年西多摩郡下  
五ヶ町村合同で行われていたものを、各自治体ごとに開催
- 3月 1日 西多摩婦人団体研究協議会開催 西多摩婦人会館
- 3月 6日 成人学級第2回講座開催
- 4月 1日 すみれ保育園開園
- 4月 5日 婦人学級協議会開催 婦人会役員 婦人学級生参加 助言者 橋本教育長  
9日 ボーイスカウト西多摩第1団結団式 第1小学校において  
○4月から婦人会国民年金保険集金を始める
- 6月 3日 婦人学級運営委員会、婦人学級第1ブロック代表 天田君子氏  
婦人学級第2ブロック代表今野つよ氏(テーマ・現代の母親のありかた)  
①親と子の問題 ②家庭の法律 ③子供の叱りかた ④新しい道徳 ⑤明  
るい家庭 ⑥家庭教育と学校教育、第3ブロック、第4ブロック代表 石川コマ氏
- 8月 8日 婦人学級全体会 「最近の経済の動きと家庭経済について」  
講師 菱山辰一氏(経済評論家)  
○福生第3・4小学校にプール完成
- 20日 青年団 料理講習会
- 25・26日 青年団幹部講習会 羽村町清流荘において 講師 坂川輝夫氏

- 36年9月17日 青年団総務 支部長懇談会
- 18日 青年団フォークダンス練習開始
- 24日 支部対抗陸上競技大会
- 10月6日 婦人学級全体会 「新しい道徳教育について」 講師 都指導主事  
三界実義氏
- 10月20日 社会教育文庫を教育委員会に設置  
○ 福生都市計画・街路計画・用途地域計画実施決定  
○ 青梅・羽村・福生等都市下水道計画決定
- 11月5日 福生青年団、西多摩郡連合青年団陸上競技大会で完全優勝 1中校庭で  
○この年、第2小学校PTA郊外指導部人形劇講習会開催、学芸部両親教室開催、図書部読書傾向調査
- 37年3月25日 町民柔道大会開催（主催福生町体育協会柔道部）青年団クラブにおいて  
(1962)  
○この月、文化連盟会長 鮎沢信太郎氏引退、来住野元一氏も引退
- 4月1日 社会教育主事1名教育委員会に入る  
武蔵野台区画整理区域決定、事業着手  
福生町社会教育委員会設置〔島田友二郎氏（中学校長）山崎茂男氏（文化連盟）秋山誠一氏（体協）志村立氏（婦人会長）木村輝幸氏（青年団）杉本皆雄氏（PTA連合会会長）古谷富治氏（民生委員）岩下伴蔵氏（学識）石川彌八郎氏（学識）〕  
体育指導員設置〔川辺秀吉氏、斎藤敬氏、吉野チェ氏、斎藤多市氏、田村正雄氏、大野達夫氏、小野沢博一氏、細淵万吉氏、石川保氏〕  
○この月、文化連盟総会会長 米泉薫氏
- 6月26日 福生町青少年問題協議会設置（西多摩郡青少年問題協議会共同設置に関する条例廃止）
- 12月10日 成人学級と婦人学級合同懇談会「現代子について」武陽信用金庫において  
○この年婦人学級盛んで22グループ365人  
○この年西多摩連合青年団陸上競技大会で福生完全優勝（この年で西多摩連合青年団陸上競技大会17回の歴史を閉じる）
- 38年3月24日 福生・横田少年親善柔道大会 主催横田基地司令部・福生青少年問題協議  
(1963)

- 会、福生町体育協会柔道部
- 38年3月31日 生活改善センター完成（青年団クラブ閉鎖）
- 4月 1日 都立多摩工業高校開校
- 5月18日 子ども会研究会開催 西多摩自治会館において  
「福生中学のアンケートを中心に」
- 6月24日 牛浜女子こども会、熊川駅清掃で善行会から表彰される
- 7月 福生三曲協会発足
- 10月 5日 熊川団地入居開始（15棟 605戸）
- 10月13日 福生町青年団支部対抗陸上競技大会
- 26日 加美平地区区画整理事業許可
- 39年1月30日 福生町役場新庁舎新築完成  
(1964)
- 2月 ニュー福生、テアトル福生映画館閉鎖
- 6月 子ども会リーダー研究会発足  
婦人学級開講
- 8月17日 福生町婦人会社会保健長官から、国民年金の集金協力で表彰を受ける  
○この月、校外指導連絡会発足
- 25日 武蔵野台区画整理事業開始
- 10月 8日 オリンピック聖火通過
- 12月 1日 福生第1小学校90周年記念誌発行
- 12月10日 福生町社会教育用備品の無償貸し出しに関する条例出来る  
○この年、青年団員150名になる、支部も半数になる  
○この年、東京都文化課による西多摩北東部文化財総合調査行われる。
- 40年4月27日 福生町文化財調査会（初代会長 清水寛二氏）できる。  
(1965)
- 7月27日 福生町フィルムライブラリー設置（教育委員会内に）
- 10月 1日 国勢調査 福生町人口30,575人 8,672戸（男14,698・女15,607人）
- 41年4月 1日 福生町立第2中学校開校（初代校長 赤尾英三氏 生徒数482人）  
(1966)
- 4月22日 町営武道館（本町25）できる
- 5月 1日 加美平住宅団地建設開始 1042戸
- 22日 福生第2小学校「創立90年記念誌」発行
- 16日 福生町社会福祉協議会設立

- 41年7月20日 福生町青少年問題協議会「家庭の日」制定8月から毎月第3日曜日
- 9月1日 福生町教育委員会、少年団体リーダー募集(15歳～25歳)
- 10月5日 家庭教育学級(10/5～3/6)全10回 隔週水曜日 役場2階会議室
- 11月13日 青年学級英会話コースと福生英語研究会、町民文化祭で英語劇上演  
○41年度成人者有志で「土筆の会」発足
- 42年1月7日(1967) 新成人者座談会「20歳 その理想と現実」出席者 内田保男氏(学生)  
志田嘉子氏(運送会社勤務) 田中守氏(自営) 仁多見英子氏(自営)  
昭和42年1月7日発行 福生町広報で
- 2月 福生町加美平団地入居  
新成人者によるサークル「さんしょうの会」発足
- 6月22日 福生町議会 都立多摩高等学校福生分校昇格促進特別委員会設置
- 11月4日 第1回「青年の集い」開催 前夜祭第1中学校で  
第1回「青年の集い」シンポジウム(秋山ちえ子等)西多摩自治会館
- 43年2月1日(1968) フォークダンス愛好会発足
- 4月1日 福生第1小学校・福生第2中学校に屋内体育館ができる
- 5月20日 青年団体連絡協議会発足(青年団・土筆の会・かんしょうの会・フォークダンス愛好会)
- 5月27日 働く青年の教室 開催
- 7月14日 福生町営プール開設(開設期間7月14日～9月10日まで)
- 8月30日 福生町生活学校開設(経済課担当)
- 9月30日 熊川親子読書の会準備会発足
- 10月 熊川親子読書の会準備会、読書会の親の学習を婦人学級として保障してほしいと福生市教育委員会に交渉・都委託婦人学級になる
- 10月19・20日 第2回青年の集い開催 総合テーマ「創造性を高めよう」
- 11月12日 熊川親子読書の会 講演会開催 講師 代田 昇氏  
「子どもを本好きにする読書」
- 17日 熊川親子読書の会 日本児童文学者協会の移動図書館「青い空号」熊川団地遊園地に招く
- 29日 熊川親子読書の会発足(毎木曜日 午後2～4時 熊川団地集会所)  
○成人式実行委員の公募 第1回実行委員会開催

- 43年12月19日 ○熊川親子読書の会増村王子氏を講師に読み聞かせ勉強会  
○この年福生町弓道連盟発足
- 44年1月15日 成人式（公募の実行委員による第1回）  
（1969）
- 2月 6日 ボーイスカウト第1団 東京都首都美化協力団体の表彰を受ける  
15日 どこでもできる体操教室の開催 講師 NHKラジオ体操 紅林氏  
第1小学校で
- 3月 青年団体宿泊研修会「サークル運営について」
- 4月 1日 第5小学校開校
- 5月20日 山崎茂男編「ふっさっ子」第1集発刊
- 6月 第1回町民バレーボール大会（参加チーム12、女子9、男子3）  
○フォークソング愛好会第1回発表会  
○第3回青年の集い準備会発足
- 7月16日 熊川親子読書の会講演会 講師斎藤尚吾氏「幼児性の読書の必要性」
- 11月 1日 福祉会館建設着工  
○熊川親子読書の会へ団体貸出、配本サービスを行う（社会教育係）  
○東京都教育庁西多摩支所と西多摩郡5町2村共催で「西多摩青年の集い」  
を開催 会場五日市青年の家
- 12月 福生町吹奏楽愛好会 福生中学OBによって発足
- 45年3月 青年団体連絡協議会宿泊研修会「私達の生活とサークル活動」  
（1970）
- 4月 1日 第1小学校分校を開校（第6小学校）
- 5月 6日 熊川親子読書の会「かいほう」定期発行
- 6月 1日 市制施行に伴い、生活改善センターに教育委員会事務局移る。そのため  
社会教育活動の場が失われ、青年サークル場所問題で混乱  
福生フォークソング愛好会第2回発表会 西武信用金庫ホール
- 6月30日 武蔵野台地区区画整理事業完成
- 7月 1日 福生市市政施行 人口37,934人、世帯11,631戸（3万都市法による）  
初代市長 石川常太郎氏
- 18日 消防署建設予定地発掘試掘開始（第1次長沢遺跡発掘調査）
- 21日 福生市福祉会館完成（総工費1億3000万円 2階3階会議室を社会教育  
施設とし社会教育係が運営 2階に図書室）

- 45年7月30日 「福生市議会報一福生一」発行
- 8月5日 消防署建設地発掘（長沢遺跡発掘作業はじまる 市民参加の発掘を目指す  
26日）終了
- 25日 9月から回覧版を廃止 『おしらせ』を各戸配付
- 9月1日 少年健全育成に「ひと声推進委員」設置
- 20日 福生市市制記念 第1回総合体育祭（10月18日まで）  
○第4回青年の集い準備会始まる
- 10月1日 国勢調査 人口38,302人 世帯数11,253戸 男18,770人 女19,532人
- 11月1日 第1回市民文化祭福祉会館で
- 8日 日本野鳥の会・多摩川の自然を守る会主催「熊川地区多摩川で自然観察会」
- 46年1月18日 都鳥獣保護員、熊川地区で野鳥調査を実施  
(1971)
- 28日 熊川団地親子読書の会、図書館建設について請願を出すことを決定
- 23日 教育委員会主催市民スキー教室長野県菅平で開催25日まで
- 22日 NHK「こどもニュース」で第5小学校卒業記念の巣箱の作成を放映
- 2月 ○青年団体宿泊研修会「専門サークル、総合学習サークルの運営について」  
五日市青年の家で
- 3月15日 広報「ふっさ」の配付を全地域を配布員による配布になる
- 28日 第1回吹奏楽愛好会定期演奏会開催
- 4月1日 都立福生高校開校  
福生第6小学校開校（初代校長 鈴木信也 11学級 396人）
- 4月2日 熊川親子読書の会市立図書館建設の陳情書を教育長、市長宛にだす。  
「児童図書館（室）を併設した市立図書館を設置されたい」
- 47年8月15日 市民大学講座準備会・プログラム委員会公募  
(1972)
- 23日 福生市身体障害者福祉協議会発足
- 9月9日 第1回青梅子どもの本講座開催 熊川親子読書の会からも参加
- 10月 第6回青年の集い
- 11月21日 市民大学3コース教育 A青年前期の心理・教育 B私達と社会教育活動  
歴史コース幕末に活躍した人々  
○この年青年団体連絡協議会の参加サークルから「文化施設研究会」が発足  
○この年福生親と子の良い映画を見る会発足

- 48年1月11日 在日米空軍施設の横田基地集約に伴う要望書提出（福生市、防衛庁へ44  
(1973) 件 468億の事業補助要請)
- 1月23日 関東計画合意 横田基地へ関東周辺の基地を集約 合意
- 3月28日 福生市健康都市宣言を出す
- 30日 福生市文化財保護条例制定  
福生市総合計画策定委員会設置
- 4月 1日 福生市体育館完成・社会教育課設置（社会教育係、社会体育係、図書館、  
体育館）の2係、2教育機関体制になる  
○図書館条例制置 司書2名になる  
○文化財保護委員会設置
- 15日 福生第1中学校PTA会報、三多摩PTA広報コンクール優秀賞を受ける  
応募数200点（昭和47年12月号受賞）
- 30日 ほたる公園完成
- 5月31日 ふっさ「公民館を創る市民の会発足」
- 6月15日 文化財専門委員決まる（自然・宮岡一雄氏 文書・森田潤三氏 立川愛  
雄氏 民俗・川鍋孝三郎氏 石川彌八郎氏 島田宇一氏）
- 7月21日 福生市立図書館分館市民体育館に開設
- 26日 青年教室開設
- 8月26日 ふっさ「公民館を創る市民の会」 映画「公民館」を観る会を開催
- 9月17日 図書館「幼児期の読書教室」開催全5回 講師 斎藤尚吾氏 福社会館
- 10月 7日 混成コース教室 午後2時～5時 毎日曜日 福社会館（初めて保育付教室）
- 28日 ふっさ「公民館を創る会」講演会開催 講師・徳永 功氏  
「新しい公民館像をめざして」
- 12月19日 ふっさ「公民館を創る市民の会」講演会 講師・徳永 功氏「私たちの市  
民参加」  
○この年ふっさ「公民館を創る市民の会」で「公民館ニュース」発行
- 49年1月12日 第1回スキー連盟主催スキー教室開催  
(1974)
- 14日 第1小学校PTAで8ミリ映画「福生の文化財巡り」作成
- 29日 市民生活安定対策本部を設置
- 3月28日 熊川親子読書の会「廃車バス図書館を自治会にすすめることを決定

- 49年4月 1日 福生第7小学校開校 第3中学校開校  
 ○福生団地（南田園地区）入居開始864戸
- 7日 熊川団地自治会総会で熊川親子読書の会を自治会運営にすることを決定
- 20日 東久留米電車図書館東村山バス図書館を熊川親子読書の会見学に行く
- 28日 熊川団地自治会総会で団地内に廃車バス図書館の設置を決定
- 29日 教育委員会、社会教育委員会に「福生社会教育基本計画の策定について」  
 諮問
- 5月15日 熊川団地自治会、市長にバス図書館設置補助の要請
- 26日 サークルビショップ五日市刈寄山採鳥会、自然観察会開催 後援教育委員会
- 29日 ふっさ公民館を創る会「公民館の早期建設及び地区館の設置に関する請願書」市議会に提出
- 6月 8日 熊川団地自治会、市へバス図書館設置補助要望書提出
- 9日 婦人学級Aコース「こどもの環境と親の役割」講師 奥田泰弘氏
- 14日 文化連盟と教育委員会共催「文化教室」始まる。俳句・編み物・人形・民謡・踊り・写真・短歌・盆栽 8コース 教育委員会主催 文化教室 ギターコースA・B  
 ○ふっさ「公民館を創る市民の会」『公民館建設』の請願書を福生市議会に提出 署名者数1180人
- 19日 文化財専門委員会「玉川上水ひ発生するほたるの天然記念物指定について」  
 答申 「玉川上水に発生するホタルを天然記念物に指定することは困難」
- 7月 6日 加美平団地にこどもの本を学ぶ会発足
- 27日 熊川団地自治会 バス図書館設置の用地確保につき協力を社会教育課に求める
- 30日 夏休み野外教室（全5回）講師 宮岡一雄先生、栗原仁先生他（8.27迄）
- 8月 つくし文庫発足（代表山田好文氏）
- 22日 熊川団地廃車バス図書館の用地の件で社会教育課長、住宅供給公社と交渉
- 9月17日 市議会総務委員会で電車図書館の件がとりあげられる
- 18日 青春教室、生活の中の経済学 全15回 講師 殿村晋一氏
- 27日 福生市議会であふさ「公民館を創る市民の会」の公民館設置の請願採択される



- 10月 1日 横田基地内廃車都電を熊川団地自治会の要請で無料でゆずり受け及び運搬  
依頼書を福生市教育委員会が横田基地に提出
- 9日 熊川団地に横田基地から都電廃車を搬入
- 14日 熊川団地自治会電車図書館設置補助金の願い書を市に提出
- 20日 ふっさ「公民館をつくる市民の会」機関紙、「私たちの公民館」を発行
- 11月10日 福生第2小学校「百周年記念誌」発行
- 50年1月29日(1975) 市民会館補助事業等実行計画書提出
- 31日 熊川親子読書の会発展的に解散、熊川電車図書館へ
- 2月10日 熊川電車図書館発足貸出を始める
- 3月25日 スキー連盟こどもスキー教室 長野県木島平
- 3月 仮称福生市民会館建設費668,765,000円計上後補正決算額  
499,399,000円  
○福生市郷土史研究誌1『横田穂之助日記』発行  
○福生植物調査中間報告書発行
- 4月 ふっさ「公民館を創る会」(公民館のイメージづくりのパンフレット配布)
- 5月12日 市議会 仮称市民会館及び公民館建設特別委員会 選任10名 以後50  
年度7回 51年度8回の会議と視察(委員長 高波忠氏 副竹田正勝氏)
- 6月15日 サークルビショップ富士山で探鳥会
- 7月 4日 自然保護講座準備会 全5回 市民大学経済コース 不況・インフレと地  
域 講師 殿村晋一氏(専修大学)
- 7月 1日 油絵教室(講師 柳川基子氏 遠藤幸之氏)
- 8月25日 市民会館、公民館設計を3業者に競争入札 岡設計に決定
- 9月 ふっさ「公民館を創る市民の会」学習会「保育室を考える」講師 伊藤雅  
子氏(国立公民館主事)
- 10月 1日 国勢調査 14,765世帯 46,457人 男23,269人・女23,188人
- 24日 少年相談所開設  
○この月基本設計第1次案岡設計より出る、設計図に対する要望をふっさ  
「公民館を創る会」社会教育課に出す
- 11月20日 福生市基本構想審議会答申「活力ある市民のまち ①健康で幸せな市民生  
活を守るまち ②魅力あふれる街 ③豊かな人間性と文化を育てる街」

- の市民憲章を答申
- 市民会館、公民館基本設計決定
- 12月5日 社会教育委員会「福生市社会教育基本計画の策定について—中間答申」  
教育委員会に答申
- 51年1月14日(1976) ヤング教室(青年団体連絡協議会・教育委員会社会教育係共催)募集
- ①恋愛・結婚を考える チューター 平田和子氏(立川高校教諭)
- ②吹奏楽教室 講師国立音大生 ③放送劇演習教室 講師原田重久氏
- ④二十歳の教室 ⑤フォークダンス教室 講師久保誠二氏 ⑥フォークギター教室 講師下畑薫氏 ⑦文学から生き方を考える 講師桑名靖治氏  
(高等学校教諭) ⑧演劇教室 講師市川勉氏
- 2月17日 市民会館・公民館入札
- 27日 市民会館・公民館工事開始(竹中・田村建設共同企業体)
- 3月3日 福生市基本構想制定『活力のあるまち』市民憲章制定
- ふっさ「公民館を創る市民の会」「福生市公民館の職員配置及び運営に関する要望書」教育委員会社会教育課に提出
- 30日 吹奏楽愛好会会長 吉田順之氏 東京都主催「日中友好青年の船」で中国へ
- 4月1日 わかざり会館開館
- 柳山公園及び多摩川堤自転車道路完成
- 市民会館開設準備委員会(関係課長、係長24名で構成)が市に出来る社会教育課に市民会館・公民館開設担当主査を置く(主査野沢翠佐土氏)  
図書館司書1名入る
- 13日 社会教育委員会「市民会館・公民館の運営に関する研究」
- 5月6日 「私達の生活と学習を考える」講座開始 全12回
- 15日 吉田順之氏「中国の青少年」を広報ふっさに掲載
- 28日 社会教育関係団体に対する補助金のあたえかたについて 講師 藤田 博氏(東京都教育庁社会教育主事室長)を招き社会教育委員学習会
- 6月5日 社会教育委員会「社会教育関係団体に対する補助金の交付について」答申
- 6月30日 吉田順之氏訪中記念スライド映写会開催
- 7月 ふっさ「公民館を創る市民の会」『いつでも・だれでも・どこでも—公民館を無料にするために—』のパンフレット配布

- 51年7月21日 わかざり図書館オープン
- 28日 夏休み自然教室 全5回 講師 宮岡一雄氏・岡田紀夫氏・栗原 仁氏
- 8月13日 市民大学「経済1930年代の経済の転換、戦後の日本経済史」全10回  
講師 殿村晋一氏
- 10月13日 若い市民の講座始まる 10コース ①都市問題青年の生活 ②基本的人  
権と青年の生活 ③現代経済のしくみ状況を知る ④自然のしくみと生活  
⑤放送劇演習 ⑥演劇教室 ⑦吹奏楽基礎コース ⑧フォークギター教室  
⑨フォークダンス教室
- 52年1月14日 教育委員会、文化財専門委員会「文化財の指定について」諮問  
(1977)
- 3月31日 福生市市民会館条例・福生市公民館条例制定
- 4月 1日 社会教育課2課・3教育機関 公民館課設置(初代課長 野沢翠佐土)  
福社会館で開設事務を開始(公民館館長・市民会館館長兼任・公民館事業  
係・市民会館事業係専務5人・市民会館管理係・公民館管理係兼務5人)
- わかたけ会館オープン
- 福生第2小学校障害児学級開設
- 6月 1日 福生市公民館オープン 利用開始
- 12日 ふっさ「公民館を創る市民の会」公民館オープンに当って「公民館の集い」
- 29日 福生市民会館・公民館開館記念行事
- 7月 3日 ふっさ「公民館を創る会」公民館へ保育室に対する要望・職員の対応につ  
いて
- 21日 わかたけ図書館オープン
- 8月10日 「公民館託児に関する要望」書提出、保育者、公民館を創る会、公民館職  
員 保育室の運営について話し合い
- 11日 公民館保育室スタート 初年度60万円でスタート
- 9月24日 公民館利用者懇談会だより発行(54年19号)ふっさ公民館利用者懇談会編集
- 25日 市民コーラス、ポーニージャックスとジョイントコンサート
- 10月 1日 福生保健所開設
- 10日 利用者懇談会、各団体に呼び掛けを決定利用者懇談会への出席を呼び掛け
- 12月11日 第1回公民館利用者懇談会 15サークル参加22人 職員3人
- 53年1月26日 東京都公民館大会で第5分科会「施設・設備」で公民館職員 青木発表・  
(1978)

第6分科会「公民館職員」利用者懇談会で村野雅之氏発表者になる

- 1月29日 利用者懇談会開催
- 6月12日 文化団体リーダー研修会・講師 岡本包治氏
- 11月26日 利用者懇談会で利用者こんだより 第1回編集会議
- 54年1月30日 仮称「こうみんかん」ふっさ公民館利用者懇談会編集長 角張美章氏  
(1979)  
(サークルゆうかり)発行
- 4月 1日 松林会館オープン(武蔵野台1-15)  
○中央図書館、郷土資料室オープン
- 5月 3日 公民館松林分館開館
- 6月 1日 公民館資料室オープン
- 5日 松林分館だより発行
- 6月23・24日 第1回公民館利用者大会 第1部音楽会・展示の部 テーマ・交流から  
自治へ
- 9月14日 「保育こんだより」ふっさ保育こんだん会の手で発行(13号から)
- 12月 9日 市民コーラス・クリスマスファミリーコンサート
- 55年5月 8日 白梅分館オープン(熊川559)  
(1980)
- 5月 公民館保育室基本要綱
- 6月 白梅分館だより発行
- 6月 公民館保育室幼児教育の場と転換
- 6月28日 日曜市民大学講座始まる
- 7月25日 松林文庫開始
- 10月24・25日 松林だれでもなんでも展 始まる
- 56年6月21日 第1回市民音楽祭・主催福生市音楽愛好者連絡会  
(1981)
- 10月 1日 福生市公民館運営審議委員、社会教育委員から独立(1号委員 川島代吉  
氏 2号委員 志村 立氏・田村正利氏・中本 勇氏・吉川 徹氏・吉田  
順之氏・3号委員 奥田泰夫氏・宮岡一雄氏
- 10月 白梅分館こどもまつり始まる
- 12月 定期監査報告で幼児室について ①毎年度新規に募集 ②回数を統一され  
たい ③公費負担の区分を明確されたいと指摘される

- 57年1月15日 福生青年団体連絡協議会「サークル通信」発行  
(1982)
- 3月12日 福生市議会で幼児室事業の問題が出る、『いわゆる予算凍結問題』起きる
- 4月 1日 野沢翠佐土館長異動 新館長 古谷正夫氏着任
- 11日 公民館のつどい 第1回準備会開催
- 25日 公民館のつどい 第1回実行委員会
- 福生市公民館長 幼児室で「福生市公民館における幼児室の実施について」  
諮問 諮問内容 ①公民館における保育室の必要性の是非について ②公  
民館における幼児室のあり方について ③公費負担の範囲について
- 5月 8日 第1回 白梅利用者発表会(以後毎年)
- 6月12日 57年第4回公民館運営審議委員会で「幼児室について市民の方からの意  
見を聞く、保育懇談会からサークル代表参加」
- 7月3日 第1回公民館の集い(音楽の広場・展示の広場・劇・上映広場・おまつり  
広場)記念講演 公民館の目指すもの 講師 岡本包治氏
- 4日 第1回公民館の集い(音楽の広場・展示の広場・劇・上映広場・おしゃべ  
り広場)親子問題について  
○公民館のあり方について
- 8月14日 公民館運営審議委員会「福生市公民館における幼児室の実施について」  
答申(3ヶ月 9回審議)
- 8月 保育こんだん会「公民館幼児室の存続について」要望書提出 館長宛
- 58年1月 公民館運営審議委員 佐久間登世子氏、うんしんおばさんだより発行  
(1983)
- 発行178号までつづく
- 3月11日 婦人グループ研修会
- 4月24日 第2回公民館のつどい 実行委員会開催 26団体 30名参加
- 5月 8日 松林分館第1回こどもフェスティバル開催 こどもフェスティバル実行委  
員会主催(以後毎年)
- 59年5月25日 福生市公民館「館報」より「公民館ふっさ」へ名称変更  
(1984)
- 6月13日 公民館障害者教室準備会始まる(職員研修)
- 7月7・8日 第3回公民館のつどい開催 全体会講演 講師 池上洋通氏「地域づくり」
- 9月 7日 障害者教室開設準備学習会開始(講師 長瀬又男氏他 14町田青年学級か  
ら 大石洋子氏他 19福生市身障者学級の現状 安田和幸氏 21 障害者

を理解するために 小岩養護学校校長 加藤寛二氏

○この月から精力的に身障青年学級の設立に向けて活動が始まる

- 10月12日 若い市民の講座「初級手話講習会」全23回
- 10月15日 古谷正夫館長異動 第3代館長 石川和夫氏着任
- 12月 サークルななよん10周年記念誌「ななよん」発行
- 60年4月(1985) 公民館イメージポスター作成コピー「今日からのしい公民館」
- 5月13日 幼児室事業 前期・後期2期制度になる
- 6月2日 障害者青年学級開始隔週日曜日
- 12日 青年学級中国語会話始まる
- 10日 聴覚障害者のための映画会(2月に1回 第1回蒲田行進曲上映以後続く)
- 8月14日 公民館運営審議会 公民館調査について審議
- 21日 合同キャンプ(山梨県小菅村キャンプ場)
- 11月26日 公民館調査開始調査期間11月26日～12月16日まで調査期間  
中央大学教育行財政研究室 奥田泰弘氏に委託
- 12月7日 公民館運営審議会相模原市公民館・大野中公民館・光が岡公民館視察
- 61年3月27日(1986) 公民館(本館)利用者研修会 講師島田修一氏(中央大学)  
「公民館と自主グループ活動」
- 3月31日 福生市公民館調査報告書出来る
- 6月7日 青少年ボランティア講座 全5回
- 7月4日 第25回東京都公民館大会企画委員会 福生市公民館で開催
- 7月6日 第5回公民館のつどい開催 演示・展示・話し合いの広場
- 62年1月(1987) 9日 第25回東京都公民館大会企画委員会7回
- 25日 第25回東京都公民館大会開催 会場福生市公民館・市民会館・福祉会館  
テーマー21世紀の公民館をめざす町づくりと公民館-11分科会 6分科会  
科会子どもと公民館で伊東静一氏事例発表・7分科会-差別と人権を課題とする分科会、福生公民館運営審議委員の秋山典子氏事例発表する。  
全体会テーマシンポジウム「臨教審における生涯学習の動きと公民館」  
パネラー 島田修一氏(中大教授) 松下圭一氏(法大教授) 矢口光子氏(臨時教育審議会第2部会専門委員) 司会 鐘ヶ崎晴彦氏(専修大学教授)

- 62年2月 6日 第25回東京都公民館大会企画委員会「大会記録について」
- 4月 1日 石川和夫館長異動 4代館長 黒田 登氏着任
- 7月 2日 公民館のつどい 第4回実行委員会
- 7月 5日 第6回公民館のつどい 26サークル参加 分科会だけ ①公民館のかしこい利用法は 助言者 島田修一氏(中大教授) レポーター橋本 洋氏  
 ②ほっとけない子育て—あなたは どうして いますか— 助言者 高崎伊平氏  
 ③私たちの街に音楽をそだてよう 山下典男氏(福生混声コーラス)  
 レポーター 泰 恵子氏 ④PTAでなにができるの—こどもたち、いきいきして いますか— 助言者 後藤重三郎氏(国分寺4中元教師)  
 司会 原 文子氏(EAEF)
- 11月 5日 福生市公民館『優良公民館文部大臣賞』受ける

年表は次の資料を参考にして作成した。

- ふっさ子第2集、4集、山崎茂男編 武蔵書房
- ふるさと7号～25号 並木鳴雄発行
- 福生青年団会報「多摩の礎」2号～8号 福生青年団
- 福生青年団機関紙「理想」 福生青年団
- 福生珠算学校月報1～
- 服部照親氏ノート 服部照親氏
- 福生町誌 福生町
- 福生歴史年表 立川愛雄編
- 広報ふっさ、縮刷版 福生市広報
- 福生市議会だより 福生市議会
- なかま 熊川親と子読書会
- 社会教育福生48年～ 福生市教育委員会
- 近代史年表 岩波書店
- 戦後社会教育史年表 付三多摩の社会教育の歩み 三多摩成人教育セミナー編
- 戦後三多摩の社会教育の歩み 三多摩成人教育セミナー編

社会教育の再出発（東京都教育史戦後編、第4回座談会）東京都立教育研究所編

女性教養 468号～473号

婦人教育十年の歩み——教育行政の成果と反省—— 文部省

まどい——福生町婦人学級記録——福生町教育委員会、東京都教育庁西多摩支所

会館紀要 福生市公民館

第一小学校九十年誌、福生市第一小学校編、

福生第二小学校九十年誌 福生第二小学校編

その他

この頁の資料は、東京府立教育の発展を

図表として、福生市教育の歩み、を記す。

福生市教育の歩み

福生市教育の歩み

福生市教育の歩み

福生市教育の歩み

福生市教育の歩み

福生市教育の歩み

福生市教育の歩み

福生市教育の歩み

福生市教育の歩み

福生市教育の歩み

福生市教育の歩み

福生市教育の歩み

福生市教育の歩み

福生市教育の歩み



## 公民館10年のあゆみ

発行日	昭和63年3月31日
編集・発行	福生市公民館 〒197 福生市福生2455 TEL 0425-52-1711
印刷・製本	(有)セイビ印刷所 〒197 福生市加美平3-8-14 TEL 0425-52-0505
表紙	渡辺 洋子 (彩光会)
カット	彩光会